

母子健康手帳を活用しましょう

「妊娠おめでとうございませす」と医師から告げられた時から、マタニティライフが始まります。妊婦さんがやがて出産を迎え、子育てをしていく中で、母子健康手帳は、妊娠期から乳幼児期までの健康や成長に関するお母さんと赤ちゃんについて一貫した記録ができる、とても優れた手帳です。

母子健康手帳の役割

①妊娠中の大切な記録
母子健康手帳は、市役所・各支所の窓口で無料で受け取ることが出来ます。

母子健康手帳を受け取ったら、まず表紙に保護者の氏名を書き込みましょう。続いて

「妊婦の健康状態・職業と環境」のページも、次の妊婦健診までに書き込みましょう。今の妊婦さんの状況を医師や助産師に伝えることができます。

記録、寝返りを始めた時期など、成長や発達について書き込めるようになっていきます。いったん子育てが始まれば、お母さんはとても忙しくなります。そんな中でも母子健康手帳への記録は、ごく短時間でできるようになっています。

赤ちゃんの成長の様子を記入しておきましょう。それはきつとかけがえない子育ての思い出になります。

また、母子健康手帳には受けた予防接種も記録されます。予防接種を受けるときには必ず持参しましょう。

③役立つ情報が満載の手引書
母子健康手帳には、お母さんと赤ちゃんに関するさまざまな情報が掲載されています。妊娠中のたばこやお酒の害、薬、父親の役割、食事についてなど、ポイントを押さえて分かりやすく書かれています。

赤ちゃんについても新生児期から幼児期にかけての様子、病気やけが、事故予防、子育てを応援する制度や相談先など、必要な知識や情報が載せられています。

妊娠週数が進むにつれて、妊婦さんの体にはさまざまな変化が現れてきます。その時に感じたことや体調などを母子健康手帳に書き留めておきましょう。気になることがあれば、妊婦健診の時に医師や助産師に相談しましょう。

②赤ちゃんの成長記録
母子健康手帳は、赤ちゃんの出生時の様子、健診ごとの

子育てで、迷ったり悩んだりしたときには、きつと母子健康手帳の中に手掛かりがあります。身近な心強い手引書として、母子健康手帳をしっかり活用していきましょう。



瀬戸内発見伝

巻之百六

牛窓の観光と吉田初三郎の鳥瞰図

牛窓の観光と国立公園

牛窓地域は、早くから観光振興に取り組んでいました。海水浴場や亀山公園の整備がその例として挙げられます。牛窓海水浴場は、明治20(1887)年頃に設置されました。牛窓神社が鎮座する亀山に公園を整備したのは明治後期のことでした。

また、牛窓周辺は、瀬戸内海国立公園に指定されています。

瀬戸内海国立公園は、昭和9(1934)年3月に指定された国立公園の一つです。昭和6(1931)年に「国立公園法」が公布され、翌年に候補地が選定されました。当初牛窓は含まれてい

かったようですが、牛窓商工会は牛窓の国立公園編入を実現するべく、積極的な運動を展開しました。そのかいがあったのか、牛窓は国立公園に指定されました。

「景勝之牛窓町鳥瞰図」

国立公園指定に合わせて、牛窓町は「景勝之牛窓町鳥瞰図」を作成しました。

鳥瞰図とは、鳥の目線で斜めに見下ろしたような描き方をした図です。

昭和9年、「牛窓町観光委員会」は「観光の牛窓」を売り出すため、鳥瞰図を作成することにしました。

描いたのは「大正の広重」と呼ばれ鳥瞰図の名手として人気のあった吉田初三郎(1884~1955年)です。

初三郎は、原画作成のため、昭和9年4月20・21日に牛窓で写生を行っています。

牛窓町は、初三郎に少なくとも150円を支払っています。現在の価値でいえば50~60万円程度と考えられます。京都で制作されたこの鳥瞰図に、印刷代や運搬の費用なども含めて502円をかけています。

鳥瞰図には、真ん中の小高い丘に天神社、そのすぐ横に本蓮寺、東の方には海水浴場や牛窓神社など、実に細かく描かれています。

遠景には、東に神戸・大阪・富士山・東京まで表示され、西は九州を経て、朝鮮、台湾まで視野に入っています。つまり、この鳥瞰図は、実際に見える風景とは違い、か

なりデフォルメ(強調、変形)されているわけですが、当時のこの鳥瞰図を見た人は、牛窓を中心に広がる世界に想像を膨らませたことでしょう。

時代に応じた観光戦略

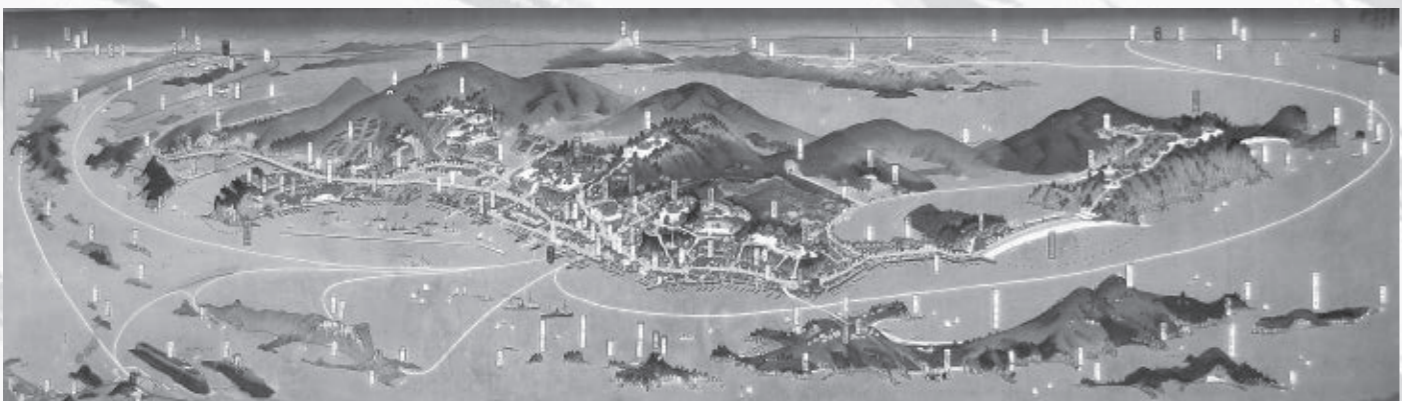
ときは「大正ロマン」に続く「昭和モダン」と称された時代でした。少しずつ「旅行」を楽しむ人たちが増え、旅行に関わるさまざまなビジネスが発展してきた時代です。

各地で観光情報の発信が盛んになりました。当時、旅行ガイドブックやパンフレットに重宝されたのが鳥瞰図で、吉田初三郎はその代表的な絵師でした。

牛窓町の関係者は、そのような時代の流れに反応しつつ、美しい風景を貴重な資源ととらえて「観光の牛窓」を売り出したのではないのでしょうか。

【参考文献】

『牛窓町史通史編』『絵図と風景』(神戸市立博物館)『パノラマ地図と旅』(福山市鞆の浦歴史民俗資料館)



△景勝之牛窓町鳥瞰図

